

平成29年度 北海道小学校長会
第4回理事研修会
研修部活動報告
平成29年12月18日



研修部から、9月以降の活動について、6点報告させていただく。1点目は、「第60回北海道小学校長会教育研究 宗谷・稚内大会」についてである。

大会キャッチフレーズ「日本のでっぺん子育ての街から 子どもたちが輝く未来に向かって新たな挑戦を」の下、開催された宗谷・稚内大会は、全道各地より570人の参加を得て、二日間の大会を成功裏に終えることができた。

第59回小樽大会までの研究の成果と課題を受けて、どの分科会においても、素晴らしい研究発表がなされ、それを基に熱心な研究協議が行われた。

道小では、参画型の分科会運営を実行しているが、本大会においても、アナライズカードや参会者の持参資料の効果的な活用、グループ討議の観点の焦点化の工夫などによって、参会者一人一人の課題意識や参加意欲の高まりが見られ、参画型の分科会は更に充実してきたように感じているところである。参加いただいた会員の皆様に心からお礼申し上げます。

また、大会を成功に導いてくださった植木 典彦大会実行委員長、大島 朗 事務局長を中心とした大会実行委員会の皆様の、大変きめ細やかな運営とおもてなしに、改めて感謝と敬意を表する次第である。

去る10月4日に、道小事務所で運営研修会を開催し、午前中に「大会反省会」、午後に平成30年度の開催地である函館地区への「引継会」を行った。この内容については、この後の協議において研修部副部長から報告させていただく。

2点目は、平成30年度 第61回北海道小学校長会教育研究 函館大会についてである。この大会は、第70回全国連合小学校長会研究協議会 北海道大会と位置付けられている。

大会に向けての進捗状況について、協議事項の中で、準備委員会よりご説明をいただくことになっている。研修部として、今後、函館大会実行委員会の皆様と連携を図りながら、大会の成功に向け業務を進めて参りたいので、どうぞよろしくお願いする。

3点目は、「第69回全連小研究協議会佐賀大会」についてである。第69回全連小全国大会は、10月12・13日の両日、佐賀県佐賀市で開催された。道小は、各地区1割参加の体制で臨んだ。

北海道からの研究発表は、

研究領域「Ⅱ 教育課程」 第4分科会「知性・創造性」において

札幌市立簾舞（みすまい）小学校 校長 附田 裕哉先生に、

研究領域「Ⅳ 危機管理」 第10分科会「危機対応」において

新ひだか町立東静内小学校 校長 下川 徳久先生にいただいた。

佐賀大会の詳しい報告については、報告事項の中で、研修部事務局幹事からさせていただきます。

4点目は、「小学校教育 別冊54号」の発行についてである。

大会の研究集録として発行している「小学校教育 別冊」であるが、宗谷・稚内大会実行委員会の研究部及び各分科会の記録担当の先生方には、たいへんご苦勞をいただいた。おかげさまで、予定通り今月に完成し、各地区へ送付した。ご活用のごほうをお願いする。

5点目は、「教育改革等に関する調査」についてである。7月に、全連小より依頼のあった教育改革、教育課程、現職教育等の調査用紙を各地区の研修部長の先生に依頼、8月に回収し、全連小へ送付した。3月には調査結果が「研究紀要」の冊子となってお手もとに届くことになっている。ご活用をいただければと思う。

最後6点目は、「地区研究活動」についてである。掲載する原稿については、各地区の研修部長の先生から、全てご提出いただいた。今後、北海道小学校長会のホームページに「地区研究活動」にアップされる。ご協力に感謝申し上げます。

以上、研修部からの活動経過報告とさせていただきます。